

2020年4月6日

厚生労働省社会・援護局  
障害保健福祉部障害福祉課  
障害児・発達障害者支援室長

本 後 健 殿

一般社団法人 全国児童発達支援協議会  
会 長 加 藤 正 仁

### 新型コロナウイルス関連 緊急調査(その3)の速報の情報提供

日ごろから一般社団法人全国児童発達支援協議会(CDS-Japan)の活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス関連 緊急調査(その3)として、衛生用品の到着状況及び事業所運営に関して実施しておりますアンケートの速報値がでましたので、情報提供いたします。

関東では、5月ゴールデンウィーク明けまでの休校が決定する中、地域によっては今週から新学期が始まる学校もあり、教育と福祉のなお一層の協力体制が望まれます。

この後も現場の声として、リアルタイムに情報提供していきますので、厚生労働省においては子どもや家族が安全・安心して発達支援等が受けられるよう、今後とも連携・協議を重ねる機会を持っていただくようお願いいたします。

#### 調査の概要

実施時期:2020年3月31日(火)から2020年4月9日(木)

実施方法:WEBによるアンケート調査、HPでの告知

アンケート:回収数:57件

速報集約:4月3日(金)17時

#### 明らかになった現場での課題

<児童発達支援・放課後等デイサービス共通>

1. マスクの支給について、調査や助成の案内のみ、〆切までの日が短く申請が間に合っていないなどで放デイ56.1% 児童発達75%が支給されていない状況です。
2. 施設の約75%がマスク不足の状況です。  
放デイ / 既に不足19.5% 底をつきそう56.1%  
児童発達 / 既に不足37.5% 底をつきそう37.5%
3. 50%以上の施設で消毒液不足の状況です。  
放デイ / 既に不足19.5% 底をつきそう48.8%  
児童発達 / 既に不足12.5% 底をつきそう37.5%
4. 感染の不安から放デイでは63.4%の事業所で利用が減っており、児童発達は37.5%となっております。
5. 行政に望むことでは、緊急対応が長期化することを想定し、現場の実態把握と教育現場への速やかな情報提供と柔軟迅速な対応を希望する声が上がっております。

※上記に係る意見については、最終報告にて詳細をお知らせいたします。

以上